

現場実習激励会を実施しました

5月27日（金）のTeams(web)と校内放送による現場実習激励会では、3年生が「実習先」「仕事内容」「目標」を発表しました。それぞれの目標を聞くと「自分から行動する」「よい姿勢で仕事をする」「仕事と休憩の区別をつける」など、とても具体的な目標があげられていて、実習に対する意気込みを感じました。2年生で実習したときの課題を受け止めて、これまで練習してきた成果だと思えます。

3年生の現場実習で大切なのは、「目標を立てて、達成すること」「休まず通うこと」「自分から挨拶や質問をすること」と進路専任・氣田より話がありました。

ご家庭でも体調管理や励ましのご支援をお願いいたします。

また、2年生や1年生もこれからの実習に向けて、できることから取り組んでいきましょう。

進路講演会を実施しました

練馬区立大泉障害者地域生活支援センターさくらの藤巻様、松下様を講師に迎えて、講演会を実施しました。「卒業後の生活はどう変わるのか」「相談支援事業所や地域生活支援センターの活用について」お話をいただきました。



卒業後の変化として、昼間の生活、余暇活動、生活の場、そして家族構成の変化が訪れることを、事例を交えてお話してくださいました。様々な変化が訪れる中で、不安なことやこんな時はどうしたらいいのだろう？と疑問が起きた時に、相談できる場所の一つとして地域生活支援センターという場所がある！ということの頭の片隅に置いておいてほしいと説明がありました。

練馬区についての話が多かったのですが、卒業後に「つながり」を作ることの大切さは、どの区に在住していても同じです。まずは、相談できる、支援してくれる場所があることを知り、将来の活用につながってほしいと思います。

★各区の主な相談先★

【中野】 鷺宮すこやか障害者相談支援事業所	電話 03-6265-5770
北部すこやか障害者相談支援事業所	電話 03-5942-5800
中部すこやか障害者相談支援事業所	電話 03-3367-7810
【新宿】 新宿区福祉部障害者福祉課	電話 03-5273-4583
【杉並】 障害者地域相談支援センター すまいる荻窪	電話 03-3391-1976
【練馬】 光が丘地域生活支援センター すてっぴ	電話 03-5997-7858
石神井地域生活支援センター ういんぐ	電話 03-3997-2181
豊玉地域生活支援センター きらら	電話 03-3557-9222
大泉地域生活支援センター さくら	電話 03-3925-7371

対象地域が決まっています。相談前にご確認ください。

福祉施設の事業形態の紹介④

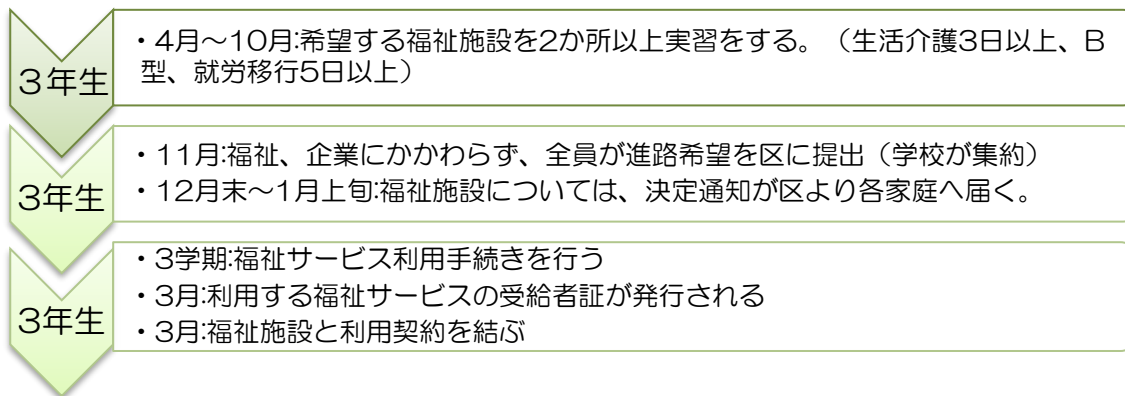
【自立訓練（生活訓練）】

対象者	地域生活を営む上で、生活能力の維持・向上等のため、一定の支援が必要な障害者。 (1) 入所施設・病院を退所・退院した者であって、地域生活への移行を図る上で、生活能力の維持・向上などの支援が必要な者 (2) 特別支援学校を卒業した者、継続した通院により症状が安定している者等であって、地域生活を営む上で、生活能力の維持・向上などの支援が必要な者等
サービス内容	入浴、排せつ及び食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談及び助言その他の必要な支援を行う。

本校の学区（練馬区、中野区、杉並区、新宿区）にも自立訓練（生活訓練）の福祉施設があります。自立訓練（生活訓練）は利用期間が決まっており基本的には2年間です。学校と同じような勉強に取り組んでいたり、利用者さんとやりたいことを相談して、1日のスケジュールを決めていたり、事業所によって様々です。通所は基本的に自主通所となります。

中野区の福祉施設決定までの流れ

中野区は区立施設、民間施設とも区が集約した上で、各施設と調整をして卒業後の施設が決定していきます。例年通りに進まないことが考えられますので、ご承知おきください。



※中野区での就労継続支援B型の利用にかかわる就労アセスメントについて

- ・5日間程度を11月末までに行うようにする。
- ・区内施設でアセスメントをとる場合は、福祉サービス利用の暫定支給は行わず、就労移行支援事業所での実習をアセスメント評価とみなす。

進路指導の手引きについて

令和4年度版進路指導の手引きを作成しましたので本日、各家庭へ配布しました。進路指導に関する流れや必要となる情報を掲載しましたので、進路に関する参考資料として活用していただけたらと思います。また、不明な点などがありましたら連絡帳や電話等でご連絡ください。